

# 精神医療従事者のための HIV/AIDS研修会

HIV陽性者はメンタル不全をきたす割合が高く、気分障害や不安障害、薬物依存を併存していることが少なくありません。一方で27年度、28年度の当分担研究の結果、HIV医療従事者と精神科医療従事者の連携が滞っていることが明らかとなりました。29年度は日本精神科病院協会の協力を得、HIV陽性者の受け入れに関するアンケート調査を実施し、連携促進の一助とするとともに、京都で先駆的な取り組みをされている4人の講師の先生方をお招きし、28年度に作成した「精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブック」を用いた精神医療研修会を企画することと致しました。多くの方のご参加をお待ちしております。

参加費  
無料！

日時：2017年12月16日（土）13:30～16:30

場所：京都テルサ 第2会議室

〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70番地京都府民総合交流プラザ内

<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/>

参加者には「精神医療従事者のためのHIV/AIDSハンドブック」を差し上げます。

定員：60名。先着順。人数に達し次第受付終了します

申し込み：メールに必要事項を御記入ください（裏面をご覧ください）

～タイムスケジュール～

13:30～13:45 開会の挨拶 長岡病院（長岡ヘルスケアセンター）副院長 角谷 慶子 先生

講義1 『HIV/AIDSの基礎、スタンダードプリコーション』  
13:45～14:15 京都大学大学院医学研究科  
血液・腫瘍内科学教授 高折 晃史 先生

講義2 『セクシャル・マイノリティの心理とその支援』  
14:15～14:45 長岡病院 臨床心理士 仲倉 高広 先生

講義3 『HIV/AIDSの治療薬と相互作用、服薬指導』  
14:45～15:15 宇多野病院 薬剤課長 吉野 宗宏 先生

講義4 『薬物依存の治療』  
15:15～16:00 京都府立洛南病院 副院長 川畑 俊貴 先生

16:00～16:10 指定発言：当事者

16:10～ 閉会の挨拶 京都府精神保健福祉総合センター 所長 土田 英人 先生

事務局：長岡病院 心理課 〒617-0843 京都府長岡京市友岡4丁目18-1 TEL：075-951-9201

主催：HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究 分担研究者 角谷慶子

共催：京都府、京都精神科病院協会（依頼中）、京都大学医学部附属病院、

京都府こころのケアセンター（洛南病院）

2017年12月16日（土）  
精神医療従事者のためのHIV／AIDS研修会  
**参加申込方法**

< [hivrenkei@nagaoka.or.jp](mailto:hivrenkei@nagaoka.or.jp) >まで、  
メールでお申し込みください。

件名には、「精神医療従事者のためのHIV／AIDS研修会」  
とご記入ください。

本文には、下記5項目のご記入をお願い致します。

- ①お名前（フリガナ）
- ②ご所属先の機関名
- ③職種・経験年数
- ④HIV感染症の臨床経験 あり・なし
- ⑤メールアドレス

※定員に達し受講できない場合は、その旨をご連絡  
させていただきます。

応募受付は先着順です。  
定員（60名）に達し次第受付を終了致します。